



■Tackle Guide
イサキ仕掛けは、ハリス2号でオキアミを付けやすいおヌバリ仕様のカラーバリがおススメ。ハタ仕掛けはヒラメ用でOK。深場の五目釣りではハリス3号のアマダイ用などはハリス3号のオモリ60号の仕掛けが安心。

当日のイサキ五目仕掛け

荷で釣り上げる。続けて右トモの松井さんがかんぱちをダブルで取り込んだかと思えば、左胴の間の藤平さんがイサキをトリプルで抜き上げた。

「あっ！バレた」というもので、ハリス切れが頻発。その正体がかんぱちであることを証明したのが右胴の間の奥村さん。40センチ級のかんぱち（若魚）とイサキを一



▲南房江見のイサキ五目は12月も大いに期待できそうだ

旬の沖釣りをエンジョイ!

今がチャンス!
これから楽しみ!

釣りどきレポート

Best Season Report

何かと忙しい師走ですが、そんなときこそ休日は海に出かけてリフレッシュしたいもの。海水温も下がり始めて海の中も衣替え、冬の魚やイカが盛り上がってます!

▼釣友の稲尾さんがハナダイ、イサキ、カンパチ、オニカサゴを上へた活躍



「写真はそれぐらいにして、鈴木さんもお土産を釣りにせえよー」との船長の言葉に甘えて私

7時ごろからサバが回避してきて、仕掛けが落ちなくなつたところで船長は、「ハナダイ狙いにチェンジします」と告げ移動となった。10分ほど走って水深70メートル付近に到着し、「ハナダイ、カイワリ、ホウボウ、アマダイ、キントキなども釣れるので、全部のハリにオキアミを付けてください。仕掛けはアマダイ用などハリス3号くらいがいいですよ」とのアナウンスで第2ラウンドがスタート。指示ダナは底から15メートル上まで。さっそく稲尾さんが25センチのハナダイを釣り上げると、右トモ2番の三浦さんがダブル

「移動します。次はイサキとハタを狙います。ハタ狙いの人はヒラメ仕掛けに冷凍イワシを付けてください」と告げて船長は船を走らせた。第3ラウンドのポイントには水深51メートル、指示ダナは底から10メートル。再開直後、稲尾さんの竿がグイッと曲がった。「鈴木さん。タモお願

船宿information

南房江見港
新栄丸
☎04-7096-0268
(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=イサキ五目乗合一人1万1000円(コマセ、水付き)
▶備考=予約乗合、12月より5時半集合。ほか午後船でSLJへも出船



武ノ内一浩船長

●南房江見港発↓江見沖
本誌APC(東京)鈴木良和 Yoshikazu Suzuki
手堅いイサキ&多彩なゲスト
五目釣りファンにイチ推し!

ブリにサバ、ヒラメなどは冬に向かうにつれて脂が乗っており、おいしい。そのような魚には、あえて頭に「寒」の字を付けて差別化するのだ。ほかにも「寒」が付く魚の「つが「寒イサキ」で、腹を開くとラードのような固まった脂が内臓を寒さから守るかのようにぎっしりと詰まっております、これからの季節においしさが増してくる。

なんと釣友の稲尾さんが偶然にも乗り合わせたのだ。これは心強い。「俺のお土産も釣ってくれよな」と冗談を言いながら船に乗り込み、総勢10名で5時半に港を離れた。釣り場へ船を走らせながら武ノ内船長がイサキ釣りのアドバイスをアナウンス。コマセカゴの調節は、下窓を完全に閉め、上窓を3分の1から2分の1くらい開ける。誘いのイメージは、竿を時計の7時の角度に構え、9時の位置までシャクリ、1、2、3と数えたら、道糸を巻き取りながら元の位置まで竿を下げ、これを繰り返して指示ダナの範囲を探る。2往復タナを探ったら仕掛

「いきなりハリス切れ!」最初のポイントの定置網周りに到着すると、「ここはイサキのほかにマダ

知得! Tips and Tricks
カラーバリ仕掛けと付けエサ考
イサキの食いがよいときはカラーバリ仕掛けで十分釣れるが、先バリにオキアミを付けるとマダイなどが掛かる確率が高まる。手返しを重視するならば、バイオバイトやイカタンなど、エサ持ちのよいものを使うのも一手。

▲オキアミとバイオバイトは受付けて販売

●すずき よしかず/トイレを小用で汚したと疑われ掃除をさせられたが、原因がウォシュレットからの漏水と判明。濡れ衣を着せられたのに、女房は素知らぬ顔です。